

2009 年 2 月 4 日

浅間山 2009 年 2 月 2 日噴火における山体近傍地域での降灰について

要旨：2 月 2 日 1 時 51 分頃に発生した小規模噴火に伴った降灰の調査を、浅間山南東側山麓および軽井沢町一帯にて実施した。火口南方向に噴出した火山灰は、主に千ヶ滝地区から軽井沢駅方面にかけて多量に堆積していることから、この方向が降下火山灰の分布主軸と推定される。また、軽井沢町では 4 km 程度の幅をもって噴煙が拡散したことがわかった。

調査期間：2 月 2 日午前～2 月 3 日午前

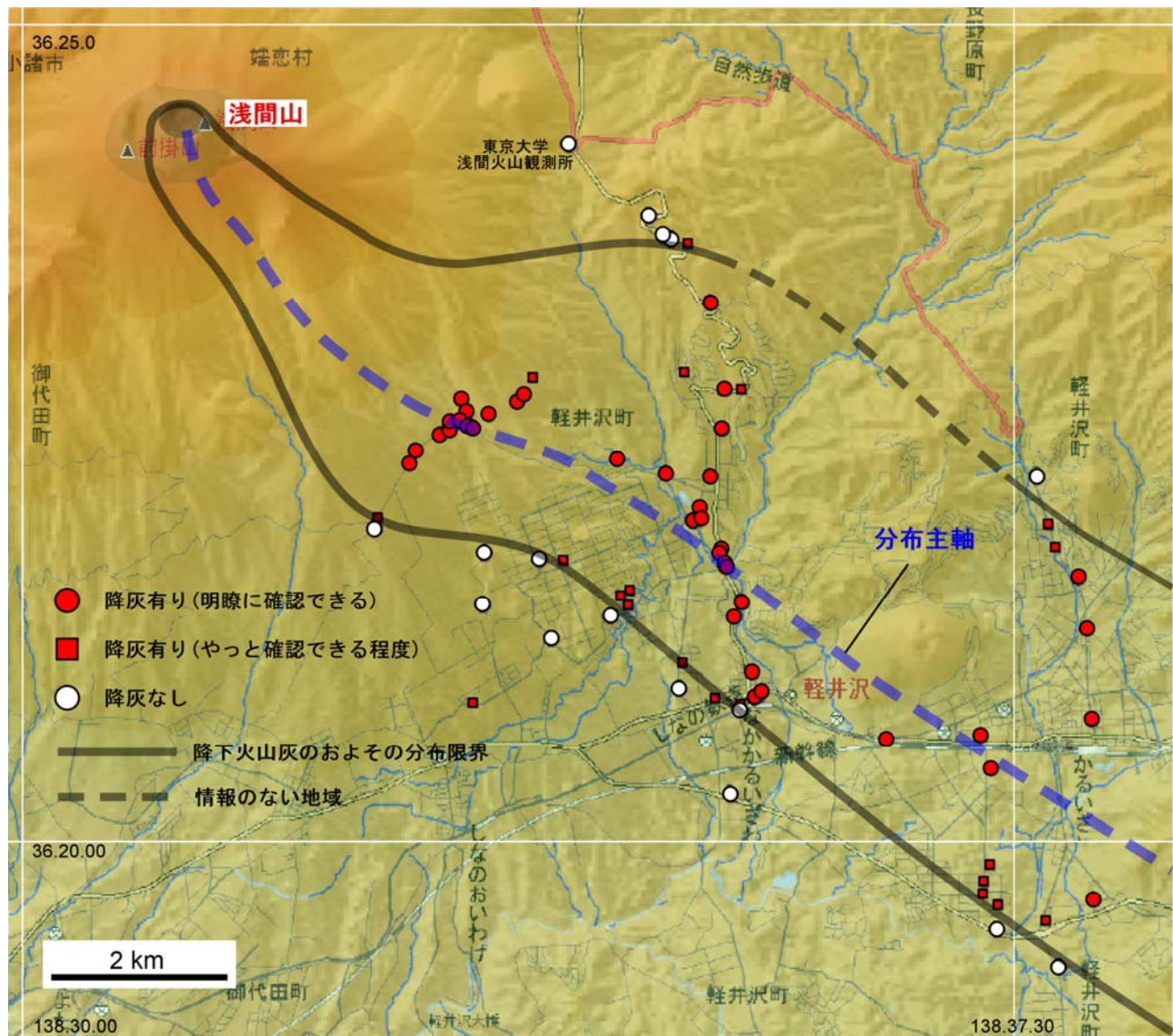


図 降灰調査実施地点及び降灰分布

- ※ 火口付近及び山体南斜面での分布については、上空からの撮影画像にもとづいている。
- ※ 風の影響により、分布主軸の西側よりも東側の方が広がっている。



追分原北部林道沿いの降灰状況



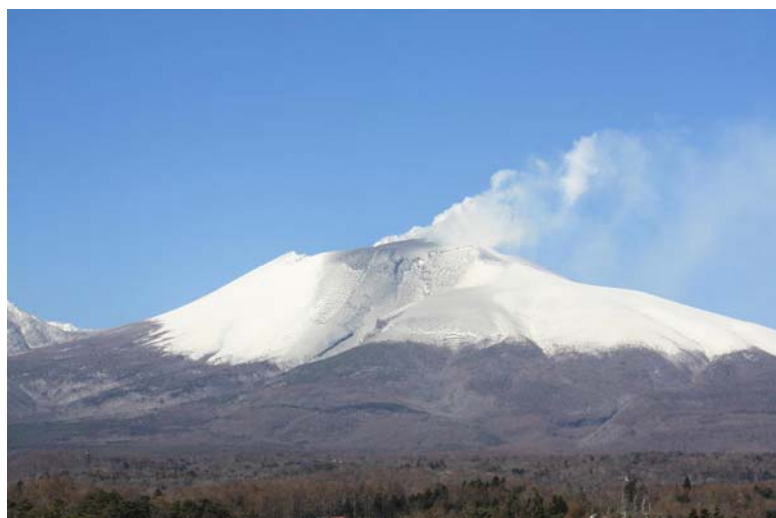
林道沿いの主軸付近の降灰状況



大窪沢の降灰状況（1～2 cm の岩片が散在）



千ヶ滝西区における分布限界付近の降灰状況



山頂火口から南東斜面にかけての降灰分布